

個別施設計画

策定年月 H31.1

施設名	岡山大安寺中等教育学校			所在地	岡山市北区北長瀬本町19-34		
敷地面積	41,340.00 m ²			棟数	36 棟 (計画記載対象 14 棟)		
延床面積	14,336.02 m ²				※対象は200m ² 以上の建物(車庫、倉庫等は500m ² 以上) ※公舎・寮は全て対象		
設置目的	中等教育学校における教育のため						
【想定される自然災害】							
予想震度 6弱		津波 -			浸水 0.5m～1.0m未満		
建築規制	市街化調整区域 建ぺい率60%、容積率200%						
エネルギー使用量 (2017年度)	電気 505,652 kwh	ガス 137 m ³	水道 4,753 m ³	燃料 (灯油) 540 ℓ			
管理上の 特記事項	敷地内未利用地 なし 敷地内貸付地 なし 岡山市避難所(土砂災害、洪水、津波)協定による避難場所						

1 施設内建物の概況

名 称	教室棟(北)(1棟)1	体育館(14棟)6	格技場(16-2棟)7-1
築年(西暦)	1964 年	1967 年	1971 年
構 造	鉄筋コンクリート造 3 階	鉄筋コンクリート造 2 階	鉄筋コンクリート造 2 階
建築面積	455.40 m ²	1,335.69 m ²	350.00 m ²
延床面積	1,366.20 m ²	1,604.00 m ²	350.00 m ²
主要な用途 (室名等)	前期課程HR	体育館	剣道場 柔道場
主要な設備 (屋外を含む)	消火設備	消火設備 給排水設備	給排水設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	不適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	屋根	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≥0.6(震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜がある場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	特別教室棟(2棟)2	視聴覚教室棟(20棟)4-2	食堂, 購買(21棟)7-2
築年(西暦)	1964年	1965年	1971年
構造	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 2階
建築面積	444.08 m ²	563.33 m ²	350.00 m ²
延床面積	1,345.40 m ²	563.33 m ²	350.00 m ²
主要な用途 (室名等)	生物教室 化学教室 音楽教室	コミュニケーションルーム 多目的教室	食堂
主要な設備 (屋外を含む)	消火設備	空調設備	給排水設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	不適
	中性化 ※3	適	不適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	教室棟(南)(3棟)3	(防音)廊下棟(39棟)17	部室(40棟)18-1,2
築年(西暦)	1964年	1978年	1979年
構造	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 3階	鉄骨造 2階
建築面積	455.40 m ²	743.64 m ²	36.98 m ²
延床面積	1,391.08 m ²	1,329.38 m ²	445.88 m ²
主要な用途 (室名等)	後期課程HR	廊下	部室 卓球場
主要な設備 (屋外を含む)	消火設備	消火設備	-
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	校友会館(47棟)23	管理棟(51棟)22	特別教室棟(8棟)4-1
築年(西暦)	1982年	2012年	1965年
構造	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 3階
建築面積	350.80 m ²	639.60 m ²	444.08 m ²
延床面積	932.92 m ²	1,942.35 m ²	888.16 m ²
主要な用途 (室名等)	同窓会記念室 大会議室 和室	校長室 事務室 職員室	技術教室 調理教室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備	電力設備 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備 昇降機	空調設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		不適
	中性化 ※3		不適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	屋根 外壁	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	プール附属室(31棟)13-1	体育部室(32棟)13-2	
築年(西暦)	1972年	1974年	
構造	鉄筋コンクリート造 1階	鉄筋コンクリート造 1階	
建築面積	123.43 m ²	73.40 m ²	
延床面積	123.43 m ²	73.40 m ²	
主要な用途 (室名等)	プール附属室	プール	
主要な設備 (屋外を含む)	-	-	
利用状況	低	低	
耐震性 ※1			
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

老朽化の進んだ建物について修繕、改修を行い、使用を継続する。
なお、プール及び附属する部室は、使用をしておらず活用困難であるため解体し、学校用地として利用する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
教室棟(北)(1棟)1	予防保全を図る。
体育館(14棟)6	予防保全を図る。
格技場(16-2棟)7-1	長寿命化改修を行う。
特別教室棟(2棟)2	予防保全を図る。
視聴覚教室棟(20棟)4-2	予防保全を図る。(予防保全を図りながら使用した後、改築等を検討する。)
食堂, 購買(21棟)7-2	長寿命化改修を行う。
教室棟(南)(3棟)3	設備等の定期更新を行う。更新に当たっては、ユニバーサルデザイン化にも配慮する。
(防音)廊下棟(39棟)17	予防保全を図る。
部室(40棟)18-1,2	予防保全を図る。
校友会館(47棟)23	予防保全を図る。
管理棟(51棟)22	予防保全を図る。
特別教室棟(8棟)4-1	予防保全を図る。(予防保全を図りながら使用した後、改築等を検討する。)
プール附属室(31棟)13-1	利用しておらず活用困難なため解体撤去する。
体育部室(32棟)13-2	利用しておらず活用困難なため解体撤去する。

3. 施設全体のスケジュール

(概要)

- 1 設備等更新
劣化状況を確認しながら順次更新を行う。
- 2 長寿命化改修
中性化対策・屋上防水等を行うほか、内部・外部の改修を行う。
(16-2棟、21棟)2024年度以降設計・施工
- 3 解体撤去
2019年度にプール及び附属する部室を用途廃止して解体撤去する。

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
教室棟(北)(1棟)1	予防保全		予防保全を図る。								
体育館(14棟)6	予防保全		予防保全を図る。								
格技場(16-2棟)7-1	長寿命化改修								設計・施工 1		
特別教室棟(2棟)2	予防保全		予防保全を図る。								
視聴覚教室棟(20棟)4-2	予防保全		予防保全を図る。								
食堂, 購買(21棟)7-2	長寿命化改修								設計・施工 16-2棟に含		
教室棟(南)(3棟)3	設備等の定期更新			トイレ 洋式化							
(防音)廊下棟(39棟)17	予防保全		予防保全を図る。								
部室(40棟)18-1,2	予防保全		予防保全を図る。								
校友会館(47棟)23	予防保全		予防保全を図る。								
管理棟(51棟)22	予防保全		予防保全を図る。								
特別教室棟(8棟)4-1	予防保全		予防保全を図る。								

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
プール附属室 (31棟)13-1	廃止・取壊し			解体 工事							
体育部室(32 棟)13-2	廃止・取壊し			解体 工事							

4. 概算費用

総額 2億円(長寿命化改修、取壊し)

5. 変更履歴

変更年月	変更内容
R2.3	教室棟(南)(3棟)において、設備等の定期更新を追加
R3.11	教室棟(南)(3棟)において、設備等の定期更新のスケジュールを変更